

グローバル全生物ゲノム株式ファンド(1年決算型)



組入上位銘柄のご紹介②

本資料では、2019年1月末現在の組入上位銘柄について、当ファンドのマザーファンドの運用に助言を行なうアーク・インベストメント・マネジメント・エルエルシー(アーク社)からのコメントをもとにご紹介します。

組入上位10銘柄(2019年1月末時点)

★本資料でご紹介する銘柄

(銘柄数:53銘柄)

	銘柄名	国名	主なゲノム分類	業種	組入比率
1	イルミナ	米国	ゲノム関連ハードウェア (解析・検査機器等)	医薬品・バイオテクノロジー	8.6%
2	インビテ	米国	ゲノム診断	医薬品・バイオテクノロジー	5.0%
3	メディデータ・ソリューションズ	米国	バイオインフォマティクス等	ヘルスケア機器・ サービス	4.3%
4	インテリア・セラピューティクス	米国	ゲノム編集(ヒト)	医薬品・バイオテクノロジー	3.9%
★5	CRISPRセラピューティクス	スイス	ゲノム編集(ヒト)	医薬品・バイオテクノロジー	3.7%
★6	エディタス・メディシン	米国	ゲノム編集(ヒト)	医薬品・バイオテクノロジー	3.6%
★7	ナノストリング・テクノロジーズ	米国	ゲノム診断	医薬品・バイオテクノロジー	3.4%
★8	ブルーバード・バイオ	米国	ゲノム編集(ヒト)	医薬品・バイオテクノロジー	3.4%
★9	ブリストル・マイヤーズスクイブ	米国	ゲノム編集(ヒト)	医薬品・バイオテクノロジー	3.3%
★10	ヴェラサイト	米国	ゲノム診断	医薬品・バイオテクノロジー	3.3%

※ 上記はマザーファンドの状況です。比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

※ 「ゲノム分類」はアーク社が考える分類です。

※ 業種名はGICS(世界産業分類基準)に基づきます。

※ 上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当社ファンドにおける保有・非保有および将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

※ 上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

組入上位銘柄①



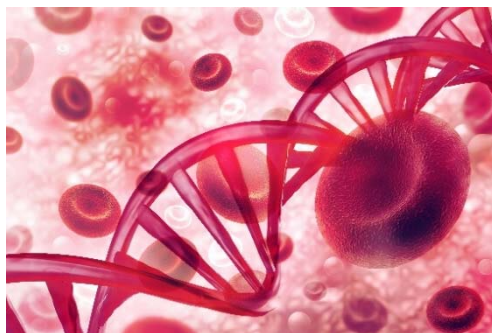
**CRISPRセラピューティクス  
(スイス)**

主なゲノム分類

ゲノム編集(ヒト)

血液疾患の研究・開発に特化

- CRISPRセラピューティクスは、**主要なゲノム編集技術「CRISPR/Cas9(クリスパー/キャスナイン)」の知的財産所有権を持つ3社のうちの1社**で、発明者の一人とされるエマニュエル・シャルパンティエ博士らが設立したバイオテクノロジー企業です。
- 同社は、**鎌状赤血球症とβサラセミアなど血液疾患の治療法の研究・開発に特化**しています。
- また、同社は、ヒト臨床検査のほか、**糖尿病などのような大きな市場を有する遺伝性疾患に最初に参入**するなど、戦略的かつ迅速な意思決定で知られており、**同領域において、先駆者としての優位性を有しています。**

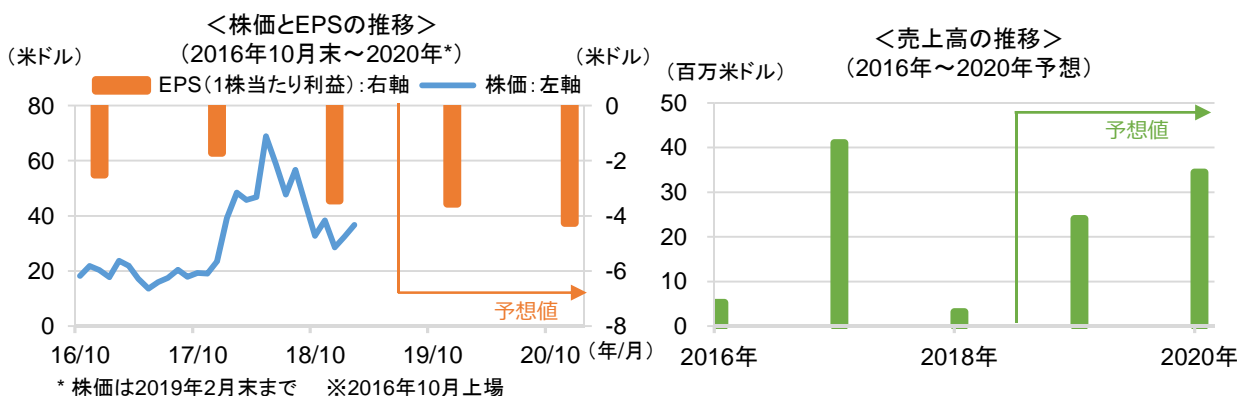


※写真はイメージです。

ARK  
の視点



➤ 迅速な意思決定や高い技術力に加え、血液疾患の研究分野において先駆者としての優位性を持つことなどから、アーク社では、**CRISPR技術を使った患者の体外で行なう遺伝子治療において、同社が先行する**とみています。



会社公表資料など信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

上記は、情報提供を目的として、当ファンドのマザーファンドの組入上位銘柄について、アーク社からのコメントをもとに、日興アセットマネジメントがまとめたものです。上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当社ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆するものでもありません。

※ 上記は過去のものおよび予想であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

組入上位銘柄②



エディタス・メディシン  
(米国)

主なゲノム分類  
ゲノム編集(ヒト)

CRISPR医薬品の開発で先行

- エディタス・メディシンは、**主要なCRISPR/Cas9の知的財産所有権を持つ3社のうちの1社**で、発明者の一人とされるフェン・チャン博士らが設立したバイオテクノロジー企業です。
- 同社は、遺伝性の血液疾患や眼の疾患など、様々な病気の治療法を研究・開発しています。
- また同社は、米バイオ医薬品大手セルジーンと提携し、**CRISPR技術を使った、多様なガン治療のための次世代「CAR-T(キメラ抗原受容体T細胞)療法」などの研究・開発を進めています。**
- 同社は、CRISPR/Cas9に加え、CRISPR/Cas9とは異なるタンパク質を利用する、**新たなゲノム編集技術として注目されているCRISPR/Cpf1(クリスパーシーピーエフワン)の技術を持つ唯一の企業**であり、これにより、より幅広い領域の遺伝性疾患への対応が可能になると考えられます。

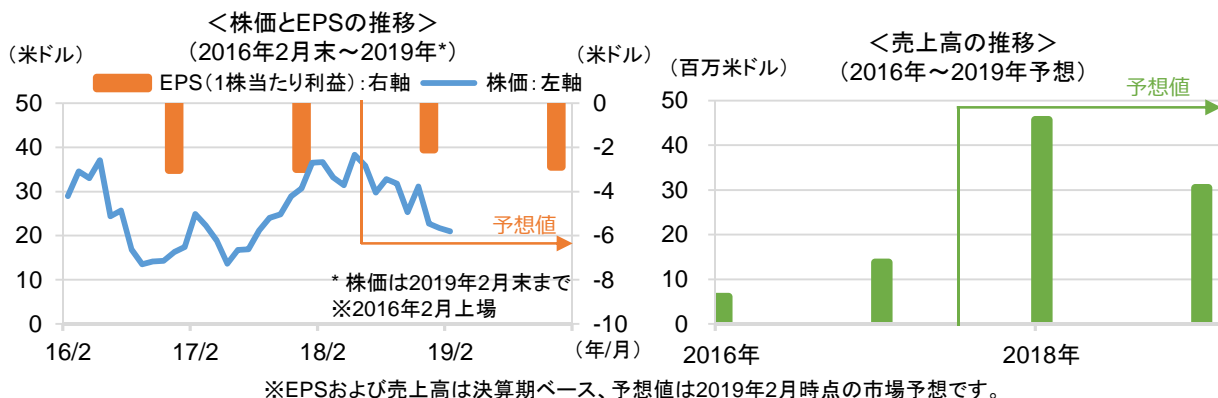


※写真はイメージです。



➤ 同社は、レーバー先天性黒内障\*の治療薬開発において、2019年後半に最初の患者に投薬する予定です。アーク社では、**CRISPR技術を使った患者の体内で行なう遺伝子治療を最初に商業化する会社になる**と予想しています。

\* 重度の視力障害などを引き起こす遺伝性の眼病



会社公表資料など信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

上記は、情報提供を目的として、当ファンドのマザーファンドの組入上位銘柄について、アーク社からのコメントをもとに、日興アセットマネジメントがまとめたものです。上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当社ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆するものでもありません。

※ 上記は過去のものおよび予想であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

組入上位銘柄③



**ナノリング・テクノロジーズ  
(米国)**

主なゲノム分類

ゲノム診断

疾患向けゲノム解析に強み

- ナノリング・テクノロジーズは、疾患向けゲノム解析や分子診断\*などにおける中心的企業です。
- 同社は、ガンや免疫など特定分野にフォーカスした精度の高いゲノム解析機器の開発および同製品の消耗品販売、乳ガンなどを診断するための分子診断\*サービスなどを提供しています。**同社の製品は、世界の多くの医療機関や大手製薬会社、研究機関などで使用されています。**
- 同社の代表的な製品である「nカウンター・アナリシス・システム」は、**次世代シーケンサーにより解析されたデータの検証など、高い精度が要求される研究などで活用**されています。



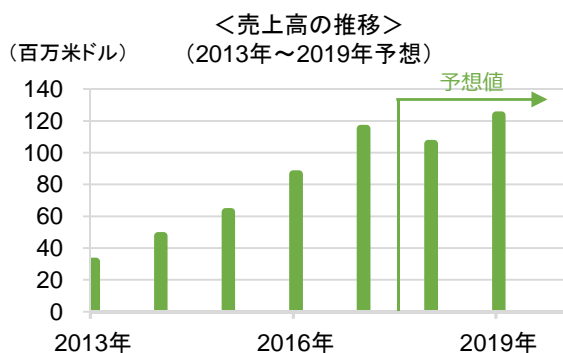
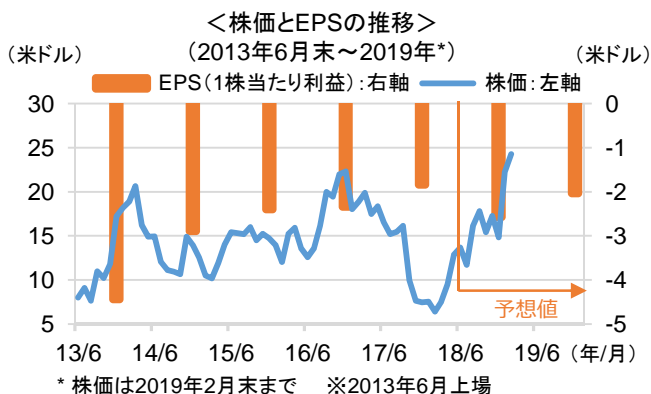
※写真はイメージです。

\* 体液などに含まれるDNAなどを調べることで、患者の疾患を特定するプロセスのこと

ARK  
の視点



➤ 2019年以降、同社から新たなゲノム解析機器など、**複数の製品が発売されると見込まれており**、これにより、同社の業績のさらなる拡大が期待されます。



※EPSおよび売上高は決算期ベース、予想値は2019年2月時点の市場予想です。

会社公表資料など信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

上記は、情報提供を目的として、当ファンドのマザーファンドの組入上位銘柄について、アーク社からのコメントをもとに、日興アセットマネジメントがまとめたものです。上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当社ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆するものでもありません。

※ 上記は過去のものおよび予想であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

組入上位銘柄④



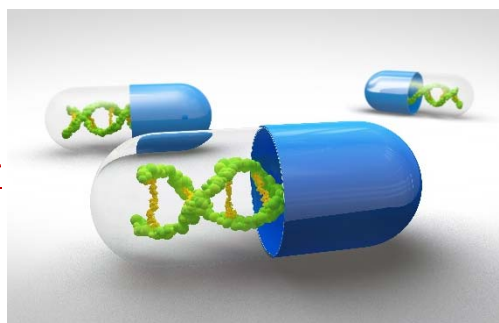
**ブルーバード・バイオ  
(米国)**

主なゲノム分類

ゲノム編集(ヒト)

ゲノム革命におけるリーダー企業の一つ

- ブルーバード・バイオは、米国のバイオ医薬品企業で、遺伝性疾患や難病向けの遺伝子治療製品の開発などを手掛けています。
- 同社は、**多発性骨髄腫\***の治療で高い効果が期待されている「**CAR-T療法**」において、米バイオ医薬品大手**セルジーン**などと提携し、**2020年後半の承認を目指して、研究・開発を進めています。**
- この他、主要製品候補として、**今後、承認が期待されるβサラセミア\*\*患者向けの治療薬「レンテグロビン」や、副腎白質ジストロフィー\*\*\*治療薬「レンチD」などがあります。**

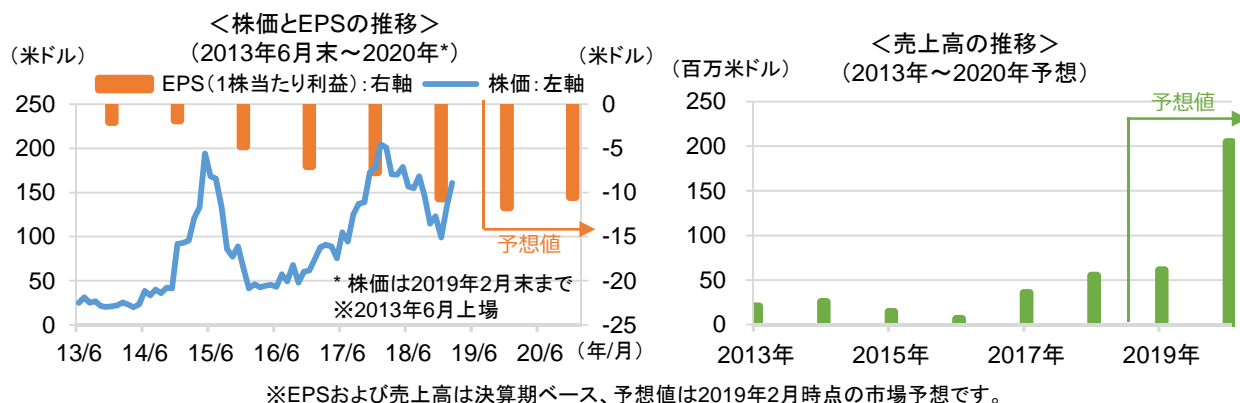


※写真はイメージです。

\* 骨髄で作られる血液細胞のガン \*\* 遺伝性の血液疾患  
\*\*\* 脳や脊髄など中枢神経系や、一部の臓器などの働きに異常をきたす遺伝性疾患

ARK  
の視点

➤ 遺伝子治療・編集やCAR-T療法など、主要なゲノム分野における幅広い製品開発能力に加えて、経験豊富な技術責任者の存在などから、今後、同社は**ゲノム分野を代表する企業の一つになるとみています。**



会社公表資料など信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

上記は、情報提供を目的として、当ファンドのマザーファンドの組入上位銘柄について、アーク社からのコメントをもとに、日興アセットマネジメントがまとめたものです。上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当社ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆するものでもありません。

※ 上記は過去のものおよび予想であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

組入上位銘柄⑤



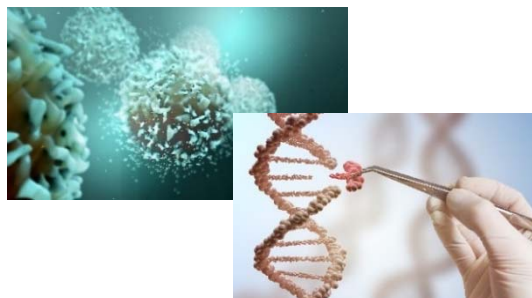
**ブリストル・マイヤーズスクイブ  
(米国)**

主なゲノム分類

ゲノム編集(ヒト)

**ガン領域に強みを持つグローバルバイオ医薬品企業**

■ ブリストル・マイヤーズスクイブは、医薬品などの開発・製造・販売に従事するグローバルバイオ医薬品企業です。同社は、**ガンや心血管・免疫系疾患などの医薬品の研究・開発に強み**を持っています。



※写真はイメージです。

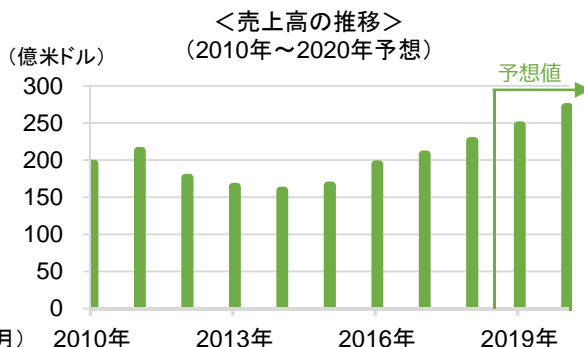
■ 同社は、積極的なM&Aを通じて、有望な医薬品や技術の獲得に努めています。2019年1月には、**バイオ医薬品大手でガン領域などに強みを持つセルジーンを740億米ドルで買収**すると発表しました。なお、セルジーンは2018年1月、CAR-T療法の開発に強みを持つジュノ・セラピューティクスを買収しています。

■ また同社は、小野薬品工業と提携\*、2018年に、共同開発を進めていた**ガン免疫治療薬「オブジーボ」と「ヤーボイ」の併用による複数のガンへの使用において、承認を得ています。**

\* 2011年、同社は小野薬品工業と提携契約を結び、日本など一部を除く世界各国でのオブジーボの開発・商業化に関する権利を獲得しました。



➤ 市場拡大が期待される**CAR-T療法開発のノウハウを持つセルジーン**の買収は、**ブリストル・マイヤーズスクイブの今後の成長を加速**させると見えています。



※EPSおよび売上高は決算期ベース、予想値は2019年2月時点の市場予想です。

会社公表資料など信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

上記は、情報提供を目的として、当ファンドのマザーファンドの組入上位銘柄について、アーク社からのコメントをもとに、日興アセットマネジメントがまとめたものです。上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当社ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆するものでもありません。

※ 上記は過去のものおよび予想であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

組入上位銘柄⑥



ヴェラサイト  
(米国)

主なゲノム分類

ゲノム診断

ゲノム診断のパイオニア

- ヴェラサイトは、主にヘルスケア企業などにゲノム診断製品やサービスを提供しています。
- 同社の製品・サービスは、診断の早期の段階で患者の遺伝子情報を収集、ゲノム診断を行ない、診断の精度をあげることで、身体への負担の大きい外科手術の必要性を低減させることを目指しています。
- 同社のゲノム診断技術は、ガンや肺炎などの特定分野において、**機械学習などを活用することにより、良性腫瘍と悪性腫瘍をより高い精度で区別することが可能**となっています。
- 2019年1月、同社は、肺ガンの早期発見などの研究を進めるジョンソン&ジョンソン・イノベーションなどとの提携を発表しました。これにより、**世界的に患者数が多く、検出が難しい肺ガンの早期発見や患者の負担軽減に向けて、同社製品・サービスの普及が期待**されます。



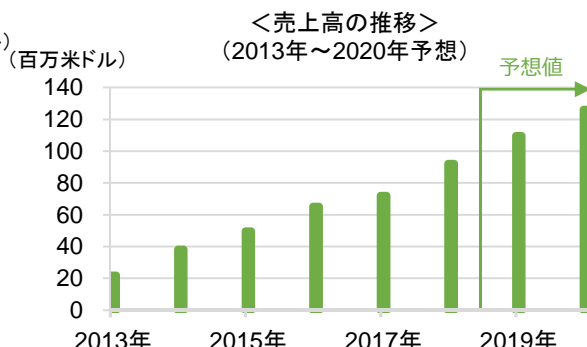
※写真はイメージです。

ARK  
の視点



➤ 機械学習の活用などに加え、今後、ジョンソン&ジョンソン・イノベーションなどとの提携により、**マイルストーン支払い\*などが期待**されるほか、**商品化が見込まれる鼻腔用綿棒などを使った新しい肺ガン検査ツールが、同社の成長を加速**させると期待されます。

\* 開発の進捗状況に応じて支払われる報酬



会社公表資料など信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

上記は、情報提供を目的として、当ファンドのマザーファンドの組入上位銘柄について、アーク社からのコメントをもとに、日興アセットマネジメントがまとめたものです。上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当社ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆するものでもありません。

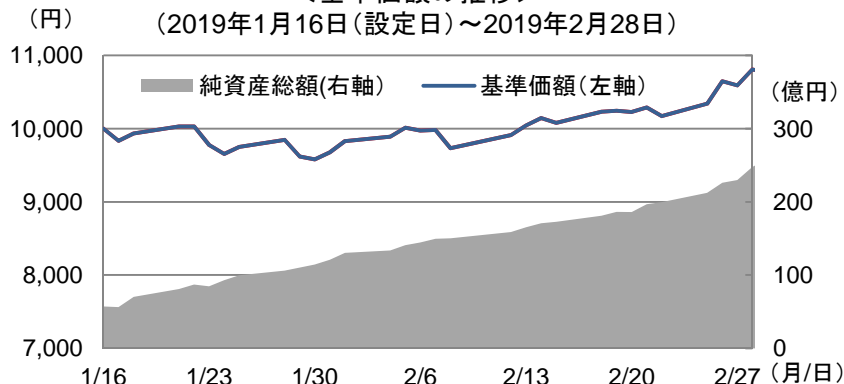
※ 上記は過去のものおよび予想であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## 当ファンドの運用状況

### ＜基準価額の推移＞

(2019年1月16日(設定日)～2019年2月28日)

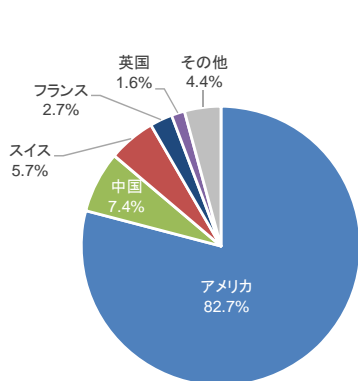


**基準価額**  
**10,810円**  
**純資産総額**  
**247億円**  
**2019年2月28日現在**

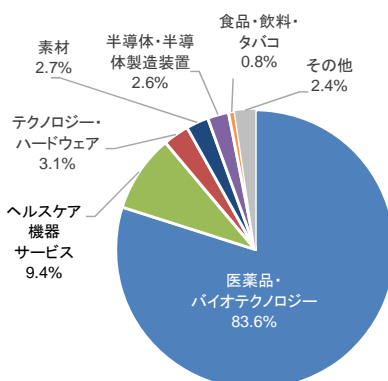
※ 基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の1万口当たりの値です。

## ポートフォリオの状況(2019年1月末時点)

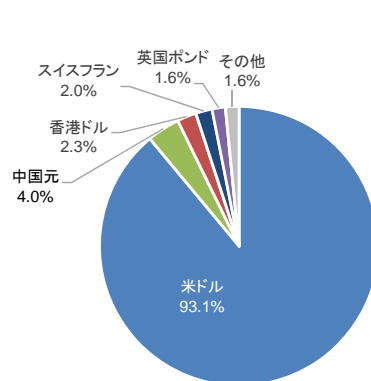
### 【国・地域別比率】



### 【業種別比率】



### 【通貨別比率】



※ 業種名はGICS(世界産業分類基準)に基づきます。

※ 上記はマザーファンドの状況です。比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

### 【ゲノム分類別比率】

ゲノム分類	比率
1 ゲノム編集(ヒト)	48.0%
2 ゲノム関連ハードウェア(解析・検査機器等)	16.8%
3 ゲノム診断	13.2%
4 バイオインフォマティクス等	12.1%
5 ゲノム編集(動植物等)	9.9%

出所: アーク社

※ 「ゲノム分類」はアーク社が考える分類です。

### 【規模別比率】

規模分類	時価総額	比率
小型株	20億米ドル未満	45.1%
中型株	20億米ドル以上 100億米ドル未満	21.7%
大型株	100億米ドル以上 500億米ドル未満	17.0%
超大型株	500億米ドル以上	16.3%

※ 上記はマザーファンドの状況です。比率はマザーファンドの組入株式時価総額に対する比率です。

※ 四捨五入などの関係で合計が100%とならない場合があります。

※ 上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。



## ファンドの特色

- 1 主に、世界の株式の中から、ゲノム関連ビジネスを行なう企業およびゲノム技術の恩恵を受ける企業の株式\*に投資を行ないます。  
\* 預託証券を含みます。
- 2 個別銘柄の選定において、アーク社の調査力を活用します。
- 3 年1回、決算を行ないます。

※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

## お申込みの際しての留意事項

### ■リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様には帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

### 【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】【カントリー・リスク】

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

### ■その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様には帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

## お申込みメモ

商品分類	追加型投信／内外／株式
購入単位	販売会社が定める単位 ※販売会社の照会先にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
信託期間	2028年12月7日まで(2019年1月16日設定)
決算日	毎年12月7日(休業日の場合は翌営業日)
購入・換金 申込不可日	販売会社の営業日であっても、購入・換金の申込日がニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日に該当する場合は、購入・換金の申込みの受付は行ないません。 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。

## 手数料等の概要

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

### <申込時、換金時にご負担いただく費用>

購入時手数料	購入時の基準価額に対し <u>3.24%(税抜3%)以内</u> ※購入時手数料は販売会社が定めます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

### <信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの日々の純資産総額に対し年率 <u>1.7712%(税抜1.64%)</u>
その他の 費用・手数料	目論見書などの作成・交付および計理等の業務に係る費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用などについては、 <u>ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。</u> 組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などがその都度、信託財産から支払われます。 ※ 運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。また、有価証券の貸付は現在行なっておりませんので、それに関連する報酬はかかりません。

※ 投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## 委託会社、その他関係法人

委託会社	日興アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号 加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
投資顧問会社	日興アセットマネジメント アメリカズ・インク
受託会社	三井住友信託銀行株式会社
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 [ホームページ]www.nikkoam.com/ [コールセンター]0120-25-1404(午前9時~午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

### 投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
大和証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号	○	○	○	○

(資料作成日現在、50音順)